

令和6年4月

見瀬和雄先生追悼論文集刊行会

鎌田康平・発起人一同

『中近世日本海沿岸地域の史的展開』に関する
お詫び・訂正につきまして

本書へは、石田文一氏より論考「新出の加賀高松光専寺旧蔵文書」（本書281～298頁）を寄稿いただきました。その紹介をしました鎌田康平執筆の「刊行にあたって」の文面を下記の通り訂正させていただきます。

【「刊行にあたって」（本書7頁12～14行）】

石田文一論文「新出の加賀高松光専寺旧蔵文書」は、かほく市史編纂事業の過程で確認された寺院文書を紹介しており、これまでの自治体史の再編事業の重要性・可能性に期待を寄せるものである。

↓

石田文一論文「新出の加賀高松光専寺旧蔵文書」は、新たに確認したかほく市所在の光専寺関連文書を紹介しており、本願寺坊官連署奉書等から真宗大谷派寺院の様相を明らかにしたものである。

自治体史における調査成果を、自治体の公表前に、石田氏が先んじて研究結果としたかのような紹介によって、同氏の名誉を大きく毀損してしまったことは、執筆を担当した鎌田の不徳の致すところです。

改めて、訂正させていただくと共に、石田氏や本書をご覧いただきました皆様に、深くお詫び申し上げます。